

No.	ご意見・ご質問	回答者	回答
1	木下さまに質問です。 研修会はどうような規模、どのような形式で開催されますでしょうか？ NII主催オンライン？ 各大学や地域でNIIに開催依頼？ とかですか？	東北大学 木下	場所は未確定ですが、現地開催とオンライン開催のハイブリッド形式を考えています。その他、講演依頼があればぜひ伺いたいと思いますのでお声掛けください。
2	感想です。レコード調整の連絡方法について。連絡方法変更の連絡はありましたが、連絡頻度の変更については事前アナウンスがなかったと記憶しています。あまりにも頻度が多かったため、当初は混乱しました。運用変更する前には、十分なアナウンスをしていただくよう希望します。	国立情報学研究所 阪口	頻度については直前まで確定しなかった事情から、連絡が週次となる旨、アナウンスができておりませんでした。ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。
3	NACSIS-CATのNCR2018運用について、CAT2020と同様に補足という形でオンライン研修動画がアップロードされるとのことですが、新採用の職員へのトレーニングツールとしてそろそろ分かりづらさが生じてしまうのではないかと思います。こちらでお願いすることではないかもしれませんが、ぜひオンライン研修コンテンツの総リニューアルを検討いただけますと幸いです。	国立情報学研究所 阪口	これまでの研修コンテンツを作り替えることは、費用や時間がかかるため、今回は補講という形にさせていただきました。いただいたご意見はご尤もだと思いますので、弊所の研修担当と共有して検討いたします。
4	木下さま、坂口さまに質問です。 ローカルの図書管理システムによるのかもしれませんが、目録情報を入力するためのインターフェイスも大幅な変更等ありますか？	国立情報学研究所 阪口	どのような実装になるかは図書館システムベンダーに委ねられますが、今回のシステム変更でフィールド自体は変わらないため、大幅な変更はないと考えられます。 ただし、PUBFフィールドへのコード追加は、従来コードが1種類しかなかったため、図書館システムによっては、ユーザーインターフェイスに多少影響があるのではないかと考えます。
5	阪口様へ 著者名典拠の()の前の半角スペースの挿入について、NACSIS-CAT上のデータは一括で対応されるとのことですが、ローカルシステムにダウンロードしたデータについて、修正せずにそのまま使用すると何か不具合が生じますでしょうか。	国立情報学研究所 阪口	図書館システム側で()の前の半角スペースがあるかをチェックしているかどうかによると考えます。チェックしていなければ、特に不具合は生じないのではないかと考えます。

No.	ご意見・ご質問	回答者	回答
6	著者名典拠の()の前の半角スペースの挿入について、ローカルでは「不具合」を生じています。新cat以後のデータと以前のデータとで、泣き別れています。	国立情報学研究所 阪口	ローカルシステムで、著者名典拠の()の前の半角スペースの挿入について不具合が生じているとのこと、誠に申し訳ございません。個別版等のサービスをご利用いただき、ローカルシステムの不具合を解消していただきたく、よろしくお願いいたします。
7	要望です。 NCR2018やRDAについての講習会も開催してほしいです。何十年も前に司書になったものにとっては、目録規則の大変革で勉強しなおしたいです。当方は大学図書館ではないので、講習を開催していただけるなら、JUSTICE主催ではなくNII主催で、NACSIS-CAT/ILL参加機関なら誰でも受講できる形式でよろしくお願い致します。	国立情報学研究所 阪口	申し訳ございませんが、NIIとしては、NCR2018やRDAに特化した講習会を行う想定は現在のところございません。 NCR2018に対応した「コーディングマニュアル」や「目録情報の基準」に関する「NACSIS-CAT/ILLセルフラーニング教材」の補講を提供いたしますので、そちらをご覧くださいませようようお願い申し上げます。
8	感想です。「電子リソースデータ共有サービス」は覚えやすいサービス名称があると良いと思います。NACSIS-CATやCiNiiのように。	国立情報学研究所 三村	覚えやすい名前について、今後検討したいです。
9	らいせんすJUSTICEの電子ブックの書誌をサイニリーサーチに流し込みする方向はあるのでしょうか？	国立情報学研究所 三村	「電子ブックメタデータ（国内）」については、一部のメタデータをCiNii Booksを介し、CiNii Researchにデータを流通させることを検討しています。 なお、「ライセンス（JUSTICE）」は利用条件等の情報ですので、書誌は含まれていません。「タイトルリスト（JUSTICE）」は簡易的なメタデータで、中には電子ブックも含まれていますが、大多数は電子ジャーナルのパッケージに含まれるリストですので、現在のところCiNiiに流通させる想定はしていません。

No.	ご意見・ご質問	回答者	回答
10	かなり難しいかと思いますが、電子リソース版の所蔵データベースのようなものを開発する予定はありますでしょうか。やはり、ILLを依頼する際、持っていそうな大学の電子ジャーナル（ブック）リストを見て、運良くあればそこに依頼するという形をとっているとかかなり時間がかかってしまうので... ただ、パッケージにどのタイトルが収録されているかが分かるようになるだけでも、結構負担が軽減されると思うのでタイトルリストはともありがたいです。	国立情報学研究所 三村	時期等は未定ですが、電子ブックの所蔵データは必要だと考えており、システムワークフロー検討作業部会とともに検討を進めています。
11	三村様へ質問です。 電子リソースデータ共有サービス「タイトルリスト（JUSTICE）」はJUSTICEに参加していない機関にはどのように活用されるのかいまいちイメージが掴めません。NACSIS-CAT/ILLと連動しているシステムなのでしょう。もし連動しているなら、ライセンス（JUSTICE）も参加していない機関も利用できるようにしてほしいです。	国立情報学研究所 三村	「タイトルリスト（JUSTICE）」はNACSIS-CAT/ILLとは連動しておらず、データをダウンロードいただいたものを、各大学が持つ電子リソース管理システム等やExcel等に取り込んで、電子リソースの管理に利用いただくことを想定しております。 「タイトルリスト（JUSTICE）」はJUSTICE会員館の限定公開を予定していたところ、要望をいただいて一般公開することになりましたが、データ提供の主目的はJUSTICE会員館の方に利用いただくこととなります。 今後はJUSTICE会員館以外の方の業務効率化に寄与するサービスについて展開を検討していきたいです。